

令和7年度第2回避難訓練を実施しました。

仙台市太白障害者福祉センター

令和8年2月24日（火）に仙台市太白障害者福祉センターにおいて避難訓練を実施しました。

今回は、地震後2階厨房から出火したことを想定した訓練を行い、防災設備業者立会いのもと避難訓練を実施しました。業者から防災設備についての説明を受け、119番模擬通報訓練を行った後、避難訓練を行いました。

訓練には利用者及び職員合わせて40名が参加し、職員の誘導のもと、速やかにセンター隣の公園へ避難しました。また、階段での避難が困難な方を想定し、今年度から新たに導入されたベルト式担架にて、3人の職員による階段介助での避難動作を行いました。出火確認から避難完了まで5分7秒でした。防災設備業者の方からは、スムーズな避難動作が出来ていたとの講評を受けております。その後、水消火器を使用した消火訓練を行い、自立訓練の利用者の方も参加し、消火器の操作方法を確認する機会となりました。

参加した職員からは、新たに導入された担架について、「以前より介助量が減り、楽に移動することが出来た」との話を頂きました。また、「職員や利用者のその日の利用人数によって避難の雰囲気や対応状況が異なるため、様々な場面を想定した訓練を行いたい」「いざという時に館内の消火器がどこにあるのか事前に確認しておきたい」など本番を想定した訓練の感想も多数挙がっておりました。

定期的に訓練し、いざという時にスムーズに行動できるようにすることが重要となります。今回の訓練を今後の防災にいかしていきたいと思っております。

